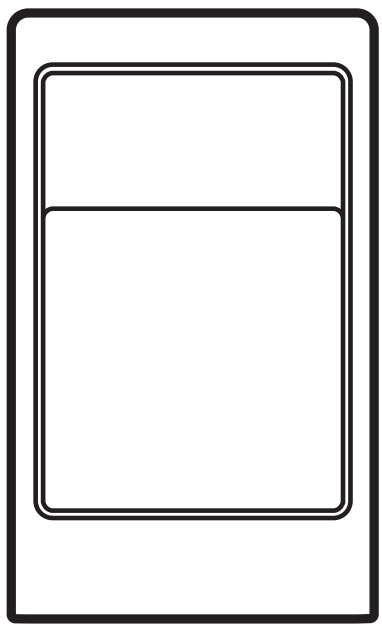
ifm electronic

CE

簡易取扱説明書
照明ユニット

efector250®

O3M950
O3M960



80236594/00 03/2016

JP

目次

1 本説明書について 4
1.1 表記の説明 4
1.2 警告表示の説明 4
2 安全にお使いいただくための注意事項 4
2.1 安全注意 5
3 機能と特徴 6
4 付属製品 6
5 アクセサリー 6
6 取付方法 7
6.1 取付けアクセサリー 8
7 接続方法 8
7.1 照明ユニットの配線 9
8 セットアップ 10
8.1 センサー動作までの手順 10
9 認証/規格 10
10 ソフトウェアに関する注意点 10

ライセンスおよび商標

Microsoft®、Windows®Microsoft®、Windows®{00217、Windows XP®、および Windows Vista® は Microsoft Corporation の登録商標です。

Adobe® および Acrobat® は Adobe Systems Inc. の登録商標です。

すべての商標および企業名は、各企業の著作権の対象です。

JP

1 本説明書について

本取扱説明書は専門の方を対象としています。 専門の方とは、製品の操作またはメンテナンス中に起こる可能性のある危険を察知し、避けるための適切な訓練と経験による知識を持った専門者です。 本取扱説明書には、製品の正しい取扱い方についての情報が記載されています。

運転状況、取付け、操作をよく理解するために、ご使用になる前に取扱説明書をお読みください。 製品の使用の全期間中、この取扱説明書を保管してください。

製品の詳細な説明は、取扱説明書およびプログラミングマニュアルをお読みください。

1.1 表記の説明

► 操作指示
> 操作による応答、結果
[...] 設定ボタン、ボタン、表示
→ 参照

重要注意事項
従わないと誤動作や干渉を引き起こすことがあります。

情報
補足注意事項

1.2 警告表示の説明

⚠ CAUTION

人的被害の警告。
軽度の可逆的損傷を引き起こすことがあります。

2 安全にお使いいただくための注意事項

本取扱説明書は製品の一部です。 製品の正しい取扱についての記述や図を記載していますので、取り付けやご使用の前に必ずお読みください。

安全にお使いいただくための注意事項を守ってください。 製品は意図された目的通りに使用してください。

製品の設置および接続は、必ず該当する国内規格および国際規格に従ってください。 製品を取り付けた者がその責任を負うものとなります。

接続や配線に供給できるのは、技術データまたは製品のラベルに示された信号のみです。

⚠ CAUTION

不可視赤外光

この照明ユニットは人の目に不可視のリスクグループ 1 (IEC 62471:2006) の赤外光を照射します。

赤外光は網膜へのダメージを引き起こす可能性があります。

- ► 説明書に記載された装置と設定で照明ユニットを使用してください。
- ► 赤外線ビームを見つめないでください。
- ► 安全注意を守ってください (→ 2.1)。

2.1 安全注意



3 機能と特徴

照明ユニットは赤外線を使用して場面を照射します。 センサーは表面から照射された赤外線を処理します。

照明ユニットは次の装置と共に使用する場合に限り光電システムの構成部品として使用できます。

- O3M150 車載用 3D センサー
- O3M160 車載用 3D センサー
- O3M151 スマートセンサー
- O3M161 スマートセンサー

4 付属製品

- 照明ユニット O3M950 / O3M960
- 簡易取扱説明書

照明ユニットにはセンサー、取り付けおよび接続用のアクセサリー、ソフトウェアは付属しておりません。

5 アクセサリー

照明ユニットの動作には次のアクセサリーが必要です。

説明	コード番号
車載用 3D センサーまたは スマートセンサー	O3M150 / O3M160 O3M151 / O3M161
MCI 接続ケーブル (センサーと照明ユニット接続用)	E3M121 (バリエーション: E3M122、E3M123)
照明ユニット用電源ケーブル	E3M131 (バリエーション: E3M132、E3M133)

アクセサリーの詳細は、
www.ifm.com/jp → データシート検索 → O3M950 等→ アクセサリー

6 取付方法

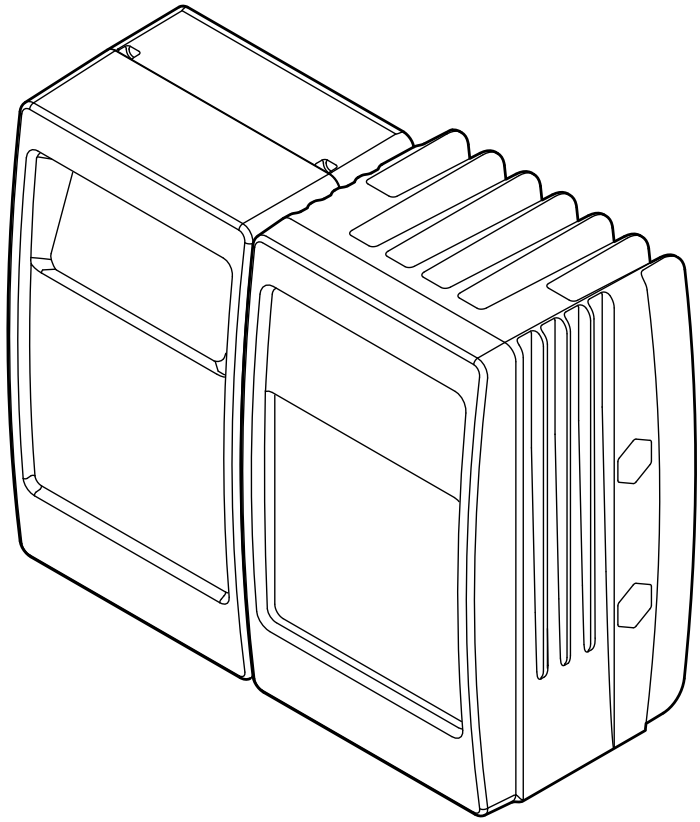
センサーは照明ユニットと合わせてシステムとして動作します。

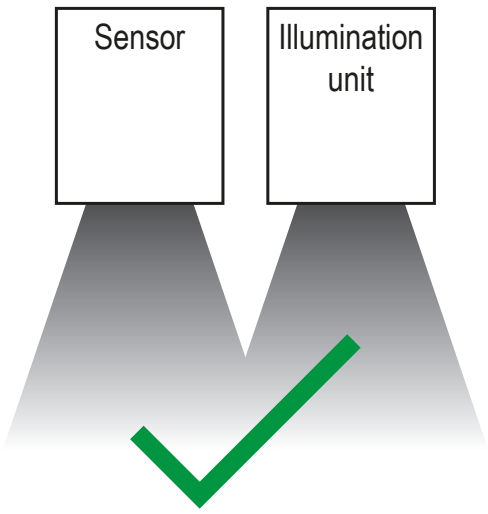
取付けは次の点について注意してください。

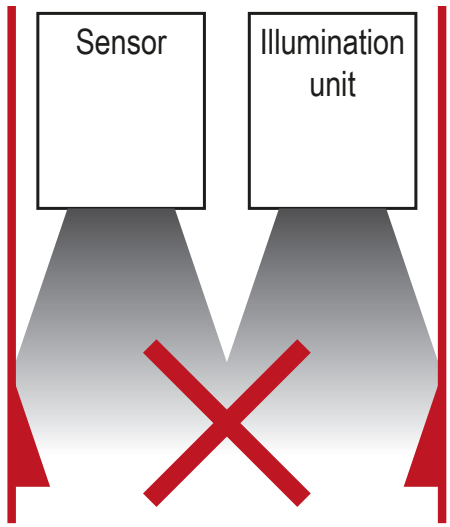
- ► センサーと照明ユニットの組合せで操作してください。
- ► センサーと照明ユニット間は 0 ~ 2.80 m の距離で取付けてください。

> 取付ける距離に応じて MCI 接続ケーブルを選択してください。

- ► 照明ユニットの照射エリアは、近距離に障害物がないようにしてください (50 cm まで)。
- ► 使用ケーブルに張力をかけないでください。







JP

6.1 取付けアクセサリー

取付け位置や取付け方法により、次の取付けアクセサリーが利用可能です。

説明	コード番号
U 型取付けセット (U 型固定金具、調整可能、タイプ O3Mxxx 用)	E3M100
ロッド取り付け Ø 14 mm 用取付けセット (クランプおよびブラケット、O3Mxxx 用)	E3M103
取付けロッド、ストレートタイプ Ø 14 mm、長さ 130 mm、M12	E20939
取付けロッド、アングルタイプ Ø 14 mm、長さ 200 mm、M12	E20941

アクセサリーの詳細は、
www.ifm.com/jp → データシート検索 → O3M950 等→ アクセサリー

7 接続方法

NOTE

製品の接続は資格のある電気技術者が実施してください。

製品の保護クラス: III (PC III)
電気は必ず PELV 回路から供給してください。

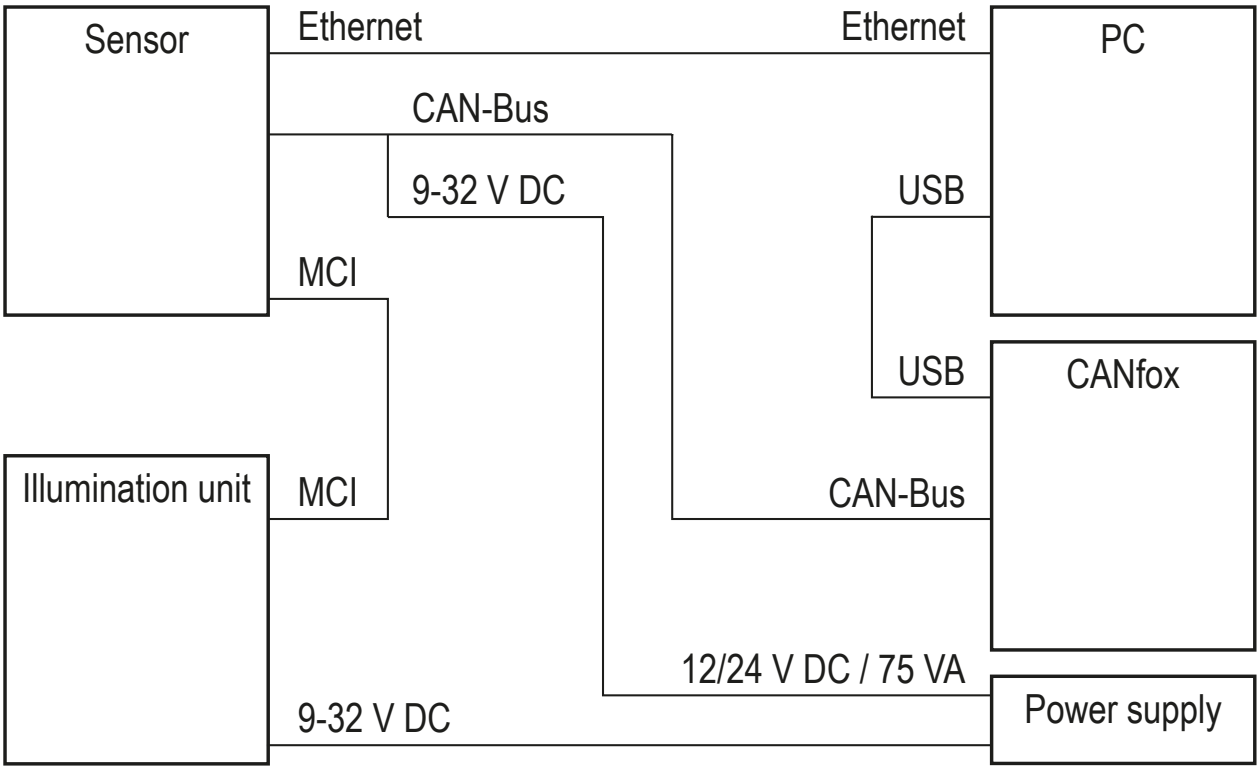
► 電気配線を行う前に電源を切ってください。

NOTE

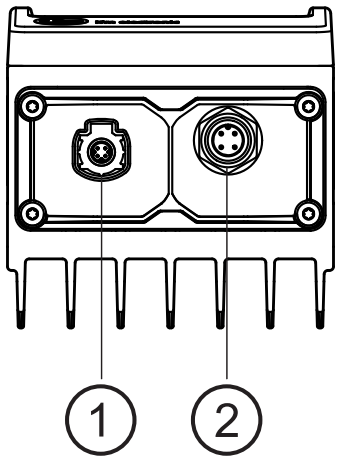
データシートに記載の IP 等級は、M12 コネクターがしっかりねじ止めされている場合に限り保証されます。

M12 コネクターが十分締め付けられていないと、製品が損傷することがあります。

► M12 コネクターは製品にしっかりねじ止めしてください。



7.1 照明ユニットの配線



(1) MCI - Modulation and communication interface	
センサーと照明ユニットの接続	
正規の ifm ケーブル E3M121、E3M122 または E3M123 以外は使用しないでください。	
(2) 電源供給	
M12 コネクター、A コード、4 極	
	1 GND 2 9..32 V 3 9..32 V 4 GND

配線接続の前に以下の点に注意してください。

- M12 コネクターの 4 つすべての配線は電源供給用に使用します。
- 必要以上に長いケーブルを使用すると余分な電圧降下を引き起こします。 電源供給を保持するために短いケーブルを使用してください。
- 電源供給のケーブルには最大 14 A の電流が流れる可能性があります。十分な断面積を持つ芯線を使用してください。
- 正規の ifm ケーブル E3M131、E3M132 または E3M133 を使用してください。

JP

8 セットアップ

8.1 センサー動作までの手順

次の手順に従ってセンサーを動作させます。

1. 電源を切ります。
2. MCI ケーブルを使用して、センサーと照明ユニットを接続します。
3. Ethernet ケーブルを使用してセンサーを接続します。
4. センサーを CAN bus および電源用のセンサーケーブルを使用して接続します。

> センサーケーブルは電源と CAN をセンサーに接続します。

5. 照明ユニットを電源に接続します。
6. CANfox USB インターフェースを、USB で PC に、アダプターケーブルで CAN に接続します。
7. 電源を投入します。

最初のセットアップ中にセンサーは照明ユニットと接続します。 接続には最大60秒かかる場合があります。

9 認証/規格

CE 適合証明書は当社ウェブサイトからご利用いただけます。

www.ifm.com/jp → データシート検索 → O3M950 等→ その他のインフォメーション

10 ソフトウェアに関する注意点

このユニットには特殊なライセンス条件の対象となるオープンソースソフトウェアが含まれます。

著作権情報とライセンス条件については、
www.ifm.com/int/GNU を参照してください。

GNU General Public License または GNU Lesser General Public License に従うソフトウェアについては、複製と運送の費用を支払うことによりソースコードをリクエストできます。

JP